

# 原っぱいろいろ、バッタもそれぞれ



10月2日 都立狭山公園 風の広場

今時期、風の広場を歩いていると、バッタが足元を飛び立ち、そこら中に散っていきます。その後をゆっくりと追いかけると、枯れ草によく似た模様のバッタに出会うことが多くなりました。夏には同じようにしてトノサマバッタにも多く出会えるのですが、秋になると、写真のクルマバッタモドキの方がより目につくようになります。もともとは河原などで見られるバッタなのですが、狭山公園の「風の広場」は乾いた草地という事もあり、特に彼らが好む環境になっているようです。管理所の南側は冬を除いて殆んど草刈りをしない、ススキ原っぱのエリアになっていますが、風の広場は年に数回草刈りをするため、ある程度に草丈が抑えられています。そのため、彼らの様な乾いた場所を好むバッタたちが集まります。全ての場所を一様に刈るのではなく、色々な草丈の原っぱが出来るため、狭山公園では多くの種類のバッタたちに出会う事が出来るのです。